

## 佐倉・産業大博覧会 2025 への出展

施設工学研究領域 施設保全グループ 渡部恵司

11月8日（土）に、佐倉草ぶえの丘（千葉県佐倉市）で開催された「佐倉・産業大博覧会 2025 ～あつまれ！佐倉の農・商・工～」で、特定外来生物ナガエツルノゲイトウ対策についての展示を行いました。

佐倉・産業大博覧会は、佐倉市内の産業経済団体、農業団体、福祉団体などが出展し、商工業や農業の魅力を発信するイベントです（※1）。印旛沼周辺で農業や環境保全などの活動を行う団体が一堂に集まって展示をおこなうとともに、企業の PR ブースや飲食・物販ブース、キッチンカーも充実し、市内外から大勢の来訪者がありました。その中で、佐倉市内のフィールドでナガエツルノゲイトウの調査をさせていただいているご縁で、農業環境研究部門の吉村泰幸・グループ長、植物防疫研究部門の井原 希・主任研究員、植田夏実・研究員とともにナガエツルノゲイトウ対策の展示を行いました（写真1）。

ナガエツルノゲイトウ（写真2）は、南米原産の多年生雑草で、繁殖力、拡散力、再生力がとても高く、生態系や農業への影響が大きいため特定外来生物に指定されています。ナガエツルノゲイトウは河川で大群落を形成したり（写真3）、水路やため池に繁



写真1 展示の様子



写真2 ナガエツルノゲイトウ



写真3 河川を覆い尽くした  
ナガエツルノゲイトウ

茂して治水や利水に大きな影響を及ぼしたり、水田で稲と競合したりコンバインによる収穫作業を妨げます(※2)。農研機構では、ナガエツルノゲイトウの農地への侵入防止対策と侵入後の防除技術を開発し、「水田におけるナガエツルノゲイトウ防除マニュアル」を公開しています(※2、写真4)。

佐倉市内では、印旛沼や沼に接続する河川、周辺の水田などにナガエツルノゲイトウが広がっています(写真5)。来訪者からは「散歩コースに花が咲いている」、「テレビで観たことがある」といった声もあり、関心の高さが伺えました。また、配布した啓発用の下敷きや上述のマニュアルについて、「下敷きは家や学校で使う」、「マニュアルのPDFはダウンロードしたが、冊子を貰えて嬉しい」といった好評の声がありました。

農村工学研究部門では、ドローンやAIを用いたナガエツルノゲイトウの検出技術の開発などに取り組んでいます。ナガエツルノゲイトウによる被害が生じる前に侵入を早期に発見する技術や、防除後のモニタリングを省力化する技術を目指しており、外来生物対策の推進に貢献してまいります。

※1 佐倉市 HP [https://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/shokoshinko/sakura\\_expo/index.html](https://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/shokoshinko/sakura_expo/index.html)

※2 農研機構 植物防疫研究部門「水田におけるナガエツルノゲイトウ防除マニュアル」[https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/publication/files/suiden\\_nagaetsurunogeito\\_bojo\\_manual\\_a.pdf](https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/files/suiden_nagaetsurunogeito_bojo_manual_a.pdf)



写真4 水田におけるナガエツルノゲイトウ防除マニュアル



写真5 佐倉市内の河川にできたナガエツルノゲイトウの群落